

大館市史第3巻発売中

「近・現代編(上)」

大館市史第3巻が刊行され、好評発売中です。購読ご希望の方はお早めにお求めください。

内容・明治・大正の大館

価格・3,800円

なお、既刊の一卷(3,800円)、二巻(3,400円)、四巻(4,300円)も併せてご購入ください。



「大館駅の開通」市史第三巻から

プロの彫金師をめざして特訓中



金、銀細工を新地場産業に

「黄金のふるさと」事業スタート

市の新分野開拓事業「黄金のふるさと」づくりが、先月二十日からスタートしました。この事業は、鉱山町の特性を生かし、鉱山から産出される金、銀を素材にした装飾加工を行い、新しい地場産業として定着させるとともに雇用の拡大を図るものです。

新企業城下町法による

新分野の事業として

特定不況業種の救済を目的にした「特定業種関連地域中小企業対策臨時措置法(いわゆる新企業城下町法)」が、昨年六月に制定され、当市が六十二年六月まで「特定不況地域」に指定されました。

これにより、当市では、国・県の補助を受けて新分野の事業開拓と人材養成事業に着手したもので、当市鉱山から産出される金、銀を素材にしてブローチやペンダント、指輪などを作る装飾品加工業を新しい地場産業として定着させ、雇用の拡大を図るとともに、当市を

申込・大館市史編さん委員会

49-3111内線237

「黄金のふるさと」にしようとするものです。

プロの彫金師を養成

事業主体は、鉱山の関連企業二十八社で作っている秋田資源開発建設事業協同組合で、今年度からプロの彫金師を養成することになったものです。

先月二十日、花矢支所で開講式を行った後、二十人の受講者は、東京の宝飾デザイナーの指導を受けて、花岡の実習場で実技に取り

地域農政推進大会開かれる

大館市地域農政推進大会が、二月十四日、農業会館で農業関係者が参加して開催されました。

大会では、五十九年度から実施される水田利用再編第三期対策の説明や講演、転作や大豆生産で優れた団体などの表彰式が行われました。受賞された方々は次のとおりです。(優秀賞、優良賞のみ)

〈転作優秀集団〉
優秀賞 浦山・沢尻・下四羽出・通町・二井田本村の各転作集団
〈大豆多収獲集団および個人〉
優秀賞 荒谷慶一(上高村)
優良賞 大沢ユキ(小坪)

伊藤一男(高村)
〈低コスト高品位多収獲集団〉
優秀賞 赤石生産組合
優良賞 出川生産組合、餅田水稻集団栽培組合

〈地域農業振興表彰〉
個人の部 伊藤公哉(下川原)、佐々木政義(橋桁)、小畑ミサ(上四羽出)、小畑喜久雄(下四羽出)

組みました。受講者のほとんどは、工具を扱うのも初めてとあって四苦八苦して銀の指輪の作り方を学んでいました。これからのスケジューリングは、基礎技術をマスターした後、デザイン感覚や高度な技術訓練などを受けてプロの彫金師となります。そして建設が予定されている「ふるさとセンター」内での実演即売や世界的な宝飾品のコンペ(競技会)の開催なども計画されています。

地域農政推進大会開かれる

団体の部 農協支部会、やまのいも部会、夏秋きゅうり部会、枝豆生産組合
〈米消費拡大コンクール金賞〉
作文の部 若林さえ子、中田幸

標語の部 松本寿美子(桂城小)
藤島誠(城南小)

図画の部 伊藤けいすけ(城南小)
長崎ひろき、二本柳みつりの、柴田恵、小畑和正、竹内克弘、鳴海麻紀、立石真、佐藤豪

佐藤正平、幸坂彰人、蒲透、萩田まさゆき(桂城小)
中島貴志、久根本香(長走小)

敬称略

市長の対話ノート



No. 84

巣立つ皆様へ

卒業おめでとうございます。それぞれ職場に、上級校へと進まれることになり、大館健児の誇りと自信をもって頑張ってください。これから念じます。これまでの学校生活は、程度の違いはあっても「定まった答えのある答案生活」ということだろうかと思えます。しかし卒業後は別です。すなわち「定まった答えのない試験生活」とでもいうべきではないでしょうか。

時には自分で問題をつくって、自分で答を創造する、これが卒業後の社会生活であるのです。それだけに困難や苦勞も多いのですが、逆に創造の喜びや達成感の充実度も大きいわけです。

「未見の我」という言葉があります。これは文字通り、まだ見たことのないこれから先の自分、つまり将来の自分の人生を描くことの意味です。その時々

の時勢に流れる自分ではなく、夢や希望も含めて己の人生感をしっかりと持ちましょう。時に立ち止まる時もあるでしょうし、後退することもありましょう。しかし、それは前進のための適応であって挫折でも破壊でもないのだ、そう自分を悟るためにも「未見の我」をしっかり描くことが必要であります。

どうぞ、これまで恵みを与えてくれた両親や恩師への感謝の心を忘れることなく、また、これまでに培った友情は生活の場所が変わっても、いささかも変わるものではないはずです。古里を思う心と共に大切にしてください。古里を活躍とご健勝を祈念申し上げます。

大館市史編さん委員会